

I 自己評価

1 学校教育目標	1 一人一人の個性を伸ばすとともに豊かな人間性を培う。 2 学力の向上とともに幅広い教養を身に付ける。 3 社会に貢献できる心身ともに健やかな生徒の育成を図る。	
2 評価する領域・分野	◇生活文化科	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・学習指導では、分かる授業を目指して、工夫ある授業がされているかの項目で昨年度より5%減となった。 ・ボランティアの機会を提供しているかの回答が65%と低く、他校種との交流や学校家庭クラブの奉仕活動等、長年継続している活動が生徒たちに浸透していない。 ・人間としてのモラルやマナーを身に付けさせようと努めているかの項目も約5%減となった。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇参加型、体験型学習やICT機器を活用した指導を工夫し、基礎的・基本的な知識や術の定着を図る。 ◇コースや学科の特性を生かした取組や学校家庭クラブ活動の充実を図る。 ◇マナー指導の強化。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・参加型学習やICT機器を取り入れた指導方法の工夫 ・家庭クラブ委員会の開催 ・分掌会や学年会との連携した指導	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 研究授業や授業参観を通して授業改善を行う。 (2) コースや学科の特色ある取組や学校家庭クラブ活動等の情報を発信する。 (3) 社会人として必要なモラルやマナーを身に付けさせる。	(1) 生徒の自己評価、授業アンケート (2) 家庭クラブ活動への参加状況 (3) 生徒の意識や行動	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・研究授業の実施及び授業の参観 ・ホームページや学科だより、家庭クラブだよりの活動紹介 ・家庭クラブ委員会の定期開催及び交通安全啓発活動への取組 ・継続したマナー指導	①評価結果及びアンケート結果 ②家庭クラブ活動への参加者数 ③生徒の意識や行動の変化	A (B) C D (A) B C D A B (C) D
11 成果・課題	○研究授業では、ICT機器を活用し生徒の興味関心を高める授業展開について情報交換ができた。 ○家庭クラブでは「交通安全意識の向上」をテーマに文化祭の展示や生徒指導部と連携した交通安全運動参加など活動を推進することができた。更に全校や地域に積極的に情報を発信し活動を活性化していきたい。 ▲継続したマナー指導が必要である。	
12 来年度に向けての改善方策案（学校評価アンケートを踏まえて）	・学校家庭クラブ活動の活性化と地域への情報発信（交通安全啓発活動の充実） ・各部との連携を一層密にし、社会人として通用するマナーを身に付けさせたい。	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

【意見・要望・評価等】 ・一つ一つ丁寧に作ってある作品ですごいと感じた。 ・生活文化科で3年間学んだ集大成の作品が、とても素晴らしい。
---